

3.10.1.2 地域連携・産学連携推進室

室長（兼務） 柏岡 秀紀 ほか4名

地域をつなぐ、社会をつなぐ、産学官連携活動のサポーターになる

■概要

地域連携・産学連携推進室では、オープンイノベーションを推進するため、地域におけるステークホルダーや、産業界、大学等の研究機関との連携を進め、社会全体のICT利活用を推進するとともに、NICTの研究開発成果の最大化を目指して活動している。

■平成30年度の成果

平成28年度から設置された地域連携・産学連携推進室の活動も3年目となる。本年度は、より連携体制を充実させ、課題を掘り起こすとともに、研究開発を推進する活動を行った。連携体制の充実として、NICTの活動を地域に周知するため、総務省地方総合通信局等とこれまでに構築してきた連携体制を維持し、円滑に情報共有するとともに、東北、北陸、関西に設置した地域ICT連携拠点との連携強化に努めた。また、地域課題を掘り起こし、その解決策を検討するために、東北、北陸、信州、九州において、アイデアソン・ハッカソンを開催した。研究開発の推進として、地域における実証研究を実施する委託研究の立ち上げとNICT内プロジェクトを立ち上げた。さらに、フォーラム等の活動を通して積極的に産学官連携活動を行った。

1. 地域連携

地域における研究開発を推し進めるために、3件の実証型研究開発プロジェクトを実施した。また、委託研究「データ連携・利活用による地域課題解決のための実証型研究開発」（課題200）において、本年度から最長3年間の研究期間で10件を採択し、研究開発の立ち上げを行った。この立ち上げにおいて、総務省総合通信局等と連携し、各地域において説明会の実施などとともに、NICTの研究開発・業務活動を紹介し、地域との連携強化に努めた。前年度、実施した各地域の社会的な課題等を整理するための調査を引き継ぎ、6名の招へい

専門員により、地域と連携した課題解決や地域特性を活かした研究開発成果を社会実装へとつなげていく研究開発についての調査を進めた。さらに、産学官の幅広いネットワーク形成、各プレイヤーが保有する技術やノウハウの結集・融合に向け、企業、法人、NPO等と連携して、塩尻市、金沢市、北九州市、仙台市の4か所でアイデアソンを、北九州市では、そのアイデアの実現に向けたハッカソンも開催した（図1）。

2. 産学官連携

スマートIoT推進フォーラム事務局として、IoT分野における産学官連携の中心的な役割を果たしている。異分野データ連携プロジェクトやIoT価値創造推進チームなど複数の分科会で議論をリードし、産学官連携活動を積極的に推進するなど、企業や大学等との連携の開拓を強く意識した活動を実施した。

さらに、外部のシンポジウムの場合などを活用したNICTの紹介と連携の開拓を進めるとともに、視察等の活動をとおした企業等との相互理解を進め、具体的連携の方向に向けた活動を推進した。



図1 ハッカソン「IoTが拓く北九州のまちとくらしの未来」開発作業（九州工業大学「MILAiS」にて）